



大阪府立和泉支援学校 交流及び共同学習の取り組み

地域で「ともに学び、ともに育つ」

和泉支援学校では、同年代の児童生徒を中心とした様々な人との関わり合いや学び合いを通して、社会性や豊かな人間性を育むことを目的に、『交流及び共同学習』を行っています。互いを理解し合う中で、共に生きていくことの大切さの理解や、社会の中で自分らしく主体的に生きる力を育んでいます。

小学部

学校間交流（共同学習）

近隣小学校（池上小学校）と交流及び共同学習を実施しています。

小学校と支援学校の同学年児童が、単発的な交流で終わらず継続して学ぶことの中で、互いを知り理解し合えた経験や、障がいのある子もない子も共に学習できた経験を実感できることを大切にしています。

〈活動例〉「校庭あそび」「校内探検」「集団あそび」「バケツ稲」



地域の支援学級との交流

地域の小学校支援学級児童と交流します。みんなで一緒に、歌やゲームを楽しんだり、動物に触れあったりします。

あすなろ交流
（高学年）



移動動物園交流
（低学年）



中学部

近隣中学校（富秋中学校）と交流及び共同学習を実施しています。中学部では、3年間を見通して学年ごとに目標を決めて取り組んでいます。双方ともに、3年間の交流及び共同学習の経験を、地域での生活にもいかしてほしいと思います。

〈知 り 合 い〉〈学 び あ い〉〈深 め 合 う〉



〈活動例〉

中1「学校紹介」 中2「英語カルタ」 中3「行事の報告会」

居住地校交流

自分の住んでいる校区の小中学校へ行き、交流したり、共に学習活動をしったりします。本人・保護者の希望により支援学校から依頼する場合と、地域からおさそいいただく場合があります。

〈活動例〉

通常の学級で

- ・給食、そうじ
- ・体育
- ・生活
- ・美術
- ・音楽



支援学級で

- （自立活動の授業）
- ・運動あそび
- ・クッキング、制作



クラス・学年を越えて

- ・学校行事へ参加
- ・休み時間交流

自分の町に
『仲間がいる』
意識づくり



障がい理解に関する出前授業

小中学校で行われる障がい理解教育や交流及び共同学習に向けての事前学習など、支援学校から教員を派遣して、出前授業を実施しています。それぞれの学校の学習状況や児童生徒の実態に応じて授業内容を考えます。

〈内容例〉

- ・「支援学校について～どんな授業してるの？～」
- ・「支援学校の友だちとの関わり方」
- ・「自閉症の方に見える世界って？」
- ・「聴覚過敏の方の聞こえ方、イヤマフ体験」
- ・「障がいに関するマーク」など



具体的な内容や進め方は、個々に相談させていただきますので、興味のある方は、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。

子どもも教員も「ともに学びともに育つ」関係で、支援教育の発展・充実へ！

問い合わせ先：大阪府立和泉支援学校 地域連携部

IETEC（イーテック）担当首席 麻生川 理詠

Tel：0725-45-9555 Fax：0725-45-8949

E-mail：T-AsogawaM@medu.pref.osaka.jp

